平成24年度
中南米日系農業者連携交流委託事業

事業計画

平成24年８月

中央開発株式会社

CKC
中央開発株式会社
〒169-8612　東京都新宿区西早稲田3-13-5
TEL 03-3207-1711　FAX 03-3232-3625
E-mail　overseas@ckcnet.co.jp

平成24年度 中南米日系農業者連携交流委託事業

Projeto de Intercâmbio e Cooperação dos Agricultores Nikkeis da América do Sul 2012

事業の背景

昭和30年代から、農業者等の海外移住が国策として積極的に推進されたこと等により、現在、中南米諸国において、20万人規模の日系コミュニティが形成されている。近年では、優秀な日系二世、三世農業者による経営者も生まれ、地域農業をリードしており、日本の農業･食料産業分野における先進的な環境管理技術等への関心も高まっている。

一方、日系コミュニティの成熟や日系人の世代交代という環境変化により、日系農業者･農協等(日系農業法人、日本人会等日系団体を含む。以下「日系農協等」という。)の組織の脆弱化、連帯感の喪失、経営の悪化、地位の低下という新たな問題が生じている。

事業の目的

1. 日系農協等組織間の連携強化
2. 次世代を担う若手の人材育成 (日系農協等関係者のリーダー育成)
3. 中南米4か国(ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン)と日本の間での良好な農業交流関係の維持･発展

期間

平成24年7月11日から平成25年3月15日(金)まで

基本方針

1. 過年度に実施した業務資産の利活用

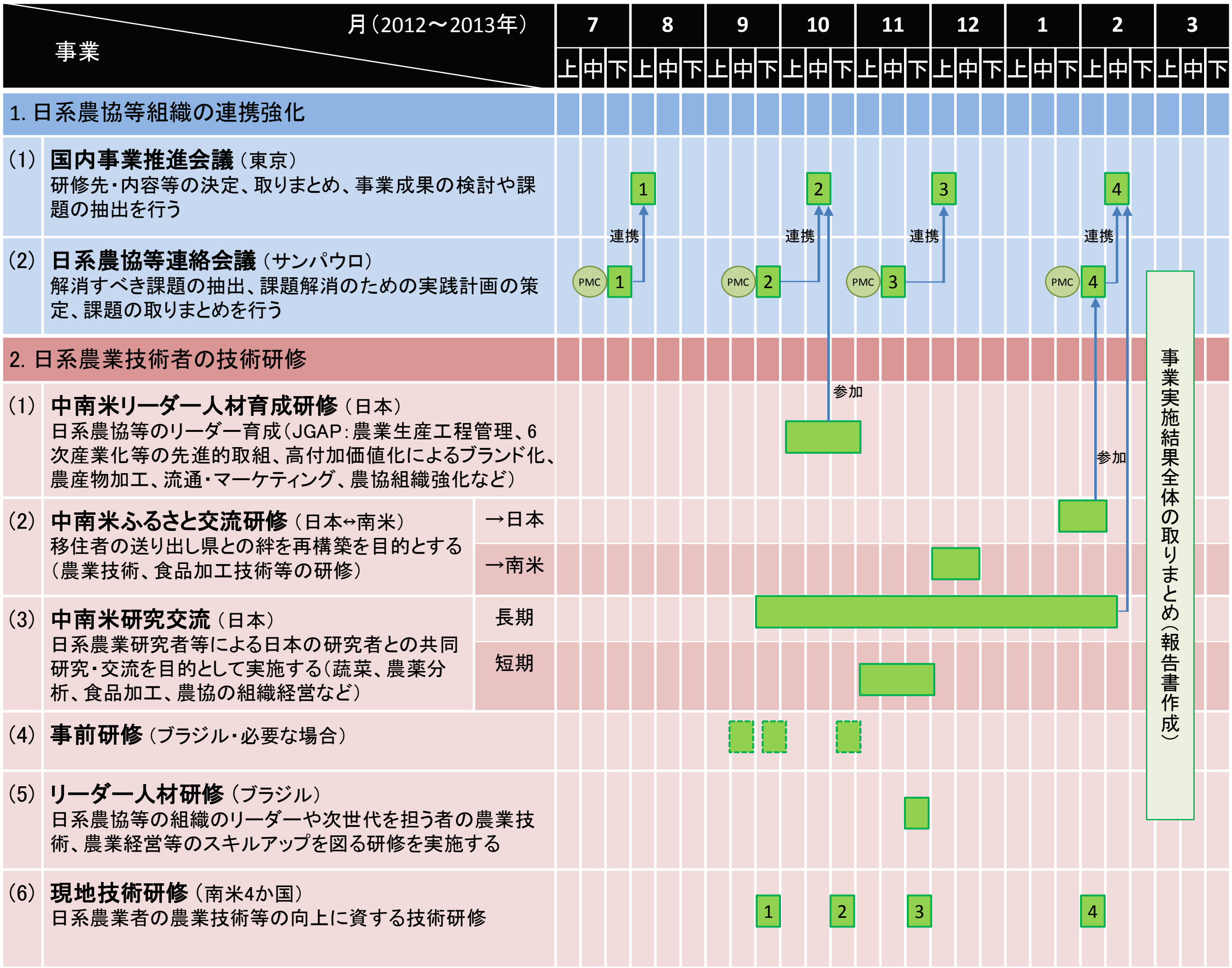
   日系農協等の喫緊の課題である「次世代を担う人材育成」を重要テーマとして、過年度に実施された日系農協等との連携関係を最大限に活用する

2. 中南米4か国のニーズと国内対応のマッチング

   研修に関する中南米4か国からの多様なニーズと国内受け入れ先のマッチングの重要性→事業主体の重要な役割

事業内容

事業		場所	参加者	期間（予定時期）
1. 日系農協等組織の連携強化				
(1)	国内事業推進会議	東京	学識経験者6名	計4回（8月,10月,12月,2月）
(2)	日系農協等連絡会議	サンパウロ	15名程度（学識経験者・日系農協等幹部）	計4回（7月,9月,11月,2月）
2. 日系農業技術者の技術研修				
(1)	中南米リーダー人材育成研修	日本	8名（日本語できる者）	1か月程度（10月）
(2)	中南米ふるさと交流研修	日本（親族等の出身地域）	中南米4か国から8名程度	20日間程度（2月）
		中南米4か国（コロニア）	日本から8名以内	20日間程度（12月）
(3)	中南米研究交流	日本の研究機関や大学	長期4名（日本語できる者）	6か月（9月～2月）
			短期7名（日本語できる者）	1か月（11月）
(4)	事前研修（必要な場合）	ブラジル国内の公益民間団体等	-	日本での研修前
(5)	リーダー人材研修	ブラジルの研修施設	15名	5日間（12月）
(6)	現地技術研修	中南米4か国（日本もしくは現地の専門家派遣）	40名程度	3日間×4回（9月～12月）



【日本で実施】

1）中南米リーダー人材育成研修

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
2012年9月下旬～10月中旬（1ヶ月間程度）	日本	中南米4カ国から8名	・中南米4カ国の日系農協等のリーダーを育成するために必要な研修。 ・研修内容としては、日本の環境管理技術（JGAP: 農業生産工程管理手法）、6次産業化等の先進的な技術と高付加価値化によるブランド化、農産物加工、流通・マーケティング等、農協組織強化など	研修先は、大学、研究機関、農業協同組合、流通関係、6次産業化を実践している農事組合法人等

2）中南米ふるさと交流研修

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
2012年11月（20日間程度）	日本	中南米4カ国から8名	交流研修先地域における農業技術、食品加工技術等の研修	
2013年1月（20日間程度）	中南米4カ国	日本から8名以内	研修生の居住している都道府県と関連のあるコロニア及び関係日系農協等へ研修生を派遣。	

3）中南米研究交流

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
短期研究交流 2012年11月上旬～11月下旬	日本	中南米4カ国から7名	昨年の課題の中から関心のあるテーマをPMCにおいて絞り込む。	1ヶ月間程度
長期研究交流 2012年9月中旬～2013年2月中旬	日本	中南米4カ国から4名	専門的な研究を対象とする。現時点、想定されるテーマは以下のとおり。 ・農協等の組織経営 ・大豆のさび病対策 ・農薬および肥料の分析 ・病虫害の早期診断技術 ・マーケティング ・食品加工	6ヶ月間程度（本事業の契約時期と履行期限とを勘案すると、5ヶ月程度になることも予想される）

【中南米で実施】

4）事前研修

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
日本での研修前	ブラジル国内 （研修先候補として以下を想定している） ・ブラジル農牧研究公社(EMBRAPA)の国際農林水産業研究センター(JIRCAS)共同研究農場 ・トメアスー移住地トロピカルフルーツ加工業 ・農業技術普及交流センター(IPTDA)	日本への研修員を対象とする	(2)の1)～3)までの各研修及び各研究交流に関して、事前研修を実施する事が必要と認められる場合に実施。	

5）リーダー人材研修

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
11月下旬	ブラジル国内	中南米4カ国から15名	次世代を担う人材のリーダー人材育成を目的とし、総合的な農業技術、農業経営、流通に関する知識・能力のスキルアップを目指す。	研修期間は5日間

6）現地技術研修

開催時期	開催場所	人数	内容	備考
2012年9月～2012年12月	中南米4カ国から要望のあった現地における実習ほ場・施設	研修は各国ごとに1回実施し、1回当たりの研修生数は40名	専門家派遣は中南米4カ国にそれぞれ1名。 専門家は日本および中南米4カ国のいずれからも派遣できる。	研修期間は、1回あたり3日間程度